

学校法人関西文理総合学園
理 事 会 御 中

学校法人関西文理総合学園
理 事 長 若 林 浩 文

第4次中期事業計画の策定

2016年3月29日開催の第88回理事会において、第3次中期事業計画の最終年度にあたり、計画の完遂を目指すとともに学部・学科再編を基本とした「財政基盤の確立に」に向けた第4次中期事業計画（3ヵ年）を策定することが決定されました。

そして、2016年4月より検討を重ね、ここに、成案を得ましたので以下のとおり提案します。

- ・基本方針 「学部・学科再編と財政基盤の確立」
- ・期 間 2017年～2019年の3ヵ年
(2017年度＝カリキュラム編成等精査・入試戦略精査期間)
(2018年度＝新学科広報・募集期間及び入学定員確定)
(2019年度＝新学科新入生)

I 学部・学科再編と財政基盤の検討経緯

1 「経営戦略会議」の設置

常任理事会主体となる経営戦略会議を設置し、理事長、学長が指名する構成員で構成する「財政検討部会」と「学部・学科再編部会」の2つの部会を設置。

- ① 財政検討部会は、川崎監事、事務局長、財務担当課長を中心に事務職員を主体に関係教育職員で構成した。

本学の収入予算の80%を占める学生生徒納付金収入に対して、支出構造を詳細に検討することで学生数との分岐点を見つめ、学部・学科再編と連動した施策を打ち出すこととしているが、文科省の定員管理の動向、他大学の動き等を勘案した入学定員設定を検討することとなり、2018年入試動向を精査して入学定員を決定する。

【上申の骨子】

財政検討部会から第4次中期事業計画期間においては「本学の募集環境から事業計画（3ヵ年）の入学者数は255名の設定が適切である。また、文科省が示している2019年度以降の入学定員管理の方針（都市部・地方を問わず全大学を対象に経常費補助金の算定基準を入学定員とする）に基づき、本学の2019年度の入学者数の設定は238名（入学定員通り）が望ましい」とする上申を受けた。

現入学定員を踏襲した238名を、新3学科にどの様に設定するかが検討課題としてある。

財政検討部会では、2019年度までの収容定員で財政シミュレーションをおこなっているが、実際に入学定員管理の方針が精査される2019年度以降の4年後の収

容定員は 922 名となり、2019 年度に比較して 76 名減少、授業料で 1 億 1 千万円の減少となる。

財政支出で大きなウエイトを占める人件費についても 2022 年までのシミュレーションを提示し入学定員決定における資料を提示する。

学部・学科再編と入学定員設定は密接な関係であることは自明なことであり、募集環境等を精査し入学定員を設定しなければならない。

② 学部・学科再編部会は、学部長、学科長、事務局長を中心に教育職員、事務職員で構成した。

理事会においても「学科毎に入学定員を公表している現状においての未充足の学科の入学定員減の政策は、他大学の状況を見ていると安易な政策であり、根本的な政策とはなり得ないということを認識すべきである」との理事からの発言もあり、抜本的な学部・学科再編を課題として検討した。

【上申の骨子】

1 学部・学科は、1 学部 3 学科とする。

学部・学科再編部会からの上申は、CB 学科の募集停止を前提に、今後の長浜バイオ大学の学部・学科再編について詳細な分析がなされ、1 学科構想から 3 学科構想の提案を受け、2 学科への再編と 3 学科への再編に絞って検討した結果、龍谷大学にはない動物系の学科は本学の特色でもあり維持していくことが必要であること、情報技術は各学科の横軸として必要であるとの判断から CB 学科の教育システムを活かした 3 学科に再編することを確認した。

2 学部・学科再編の時期

2019 年 4 月入学生から適用する。

当初は、CB 学科の募集は 2016 年度（2017 年 4 月入学生）までとし、2017 年度（2018 年 4 月入学生）からは新しい学科名称で募集展開を行う予定であった。

しかし、JABEE への対応、新学科のディプロマポリシーを含め 3 ポリシーの明確化、新学科カリキュラム編成、新学科の就職先のイメージ化を同時に打ち出すことが求められることから 2017 年 12 月末までにすべての条件をクリアにして募集広報活動の準備を整え、2018 年度当初から 2019 年 4 月の新学科による募集に踏み切ることとした。

③ 各部会での検討時期は、2016 年 4 月から 9 月の期間としたが、2016 年 8 月末日に経営戦略会議に上記内容を骨子とする検討結果が上申された。

2 「経営戦略会議集中審議」9 月中旬開催

1 の各部会上申について、学部体制、学科体制、教員配置、財政問題等について審議し、以下のことが承認され、10 月以降の教育研究戦略会議で具体案の検討、承認を経て教授会報告、課長会報告の手続きをとることとした。

【学部・学科再編】

1 学部・学科は、1 学部 3 学科とする。

2 学部・学科再編の時期は、2019 年 4 月入学生から適用する。

3 具現化する検討機関

①新学科名称・入学定員

戦略会議・課長会議

②カリキュラム編成等

教育プログラム推進機構

③入試形態

アドミッションオフィス委員会

④事務職員体制

課長会議

- 4 検討結果報告時期 2017年12月
5 新学科確定時期 2017年12月理事会

【財政問題】 財政部会での継続審議

3 「教育研究戦略会議」の審議

教育研究戦略会議では、2016年10月4日（火）開催の第5回会議から2017年1月5日（火）開催の第8回会議において「別添 教育研究戦略会議審議内容」の審議・承認を経て、2017年1月17日（火）開催の教授会に「2019年度からの学部・学科再編について」が提案され承認された。

II 第4次中期事業計画の提案

1 「学部・学科名称（カッコ内は「予定入学定員）」

学部名 バイオサイエンス学部（240名）
学科名 フロンティアバイオサイエンス学科（80名）
アニマルバイオサイエンス学科（50名）
メディカルバイオサイエンス学科（80名）
臨床検査学コース（30名）
教育目標・各学科3つのポリシー 別添

2 開設の時期 2019年4月

3 「入学定員の確定」

第7回教育研究戦略会議議事録に「学科定員については、原案では合計260名となるが、文科省による定員管理の厳格化の影響（2019年度以降の私立大学経常費補助金不交付基準など）、周辺大学の動向、大学基準協会等から指摘されている定員と入学者数の適正措置、定員割れが生じた時のダメージ等が、現時点では評価、判断できないことが多いため、1年程度の時間をかけて検討を行うことを確認した。なお、アニマルバイオ科学科の定員については、食品衛生課程の定員設定も考慮して検討する必要があるとの意見が出された。」

と記載されているとおり現時点では提案の「予定入学定員」をベースに検討することとした。

4 上記1の学部・学科名称を確定させ、Iの2に記載する検討機関で検討し入学定員も含めた「学部・学科再編」の全容を2017年12月の理事会に提案する。

5 添付資料

- 1 「教育研究戦略会議審議内容」（議事録抜粋）
2 「第4次中期事業計画：学科再編・3つのポリシー・財政部会報告」資料（パワーポイント作成）

以上